

# 臨床仏教 公開講座

## 講座スケジュール

※本講座は臨床仏教師養成プログラム通算第6期となります。

第1講 10/1 (火) 18:00～19:30

### 子どもたちと カウンセリング -第三者介入と支援のあり方-

**内容** 不登校状態にある子どもたちの数は年々増加している。また、ひきこもり状態にある若者たちの問題も深刻さを増している。彼ら彼女たちが、周囲の人や社会と繋がるために支援者・カウンセラーは何ができるのか考える。

**講師** 丹治 光浩(花園大学)

第2講 10/15 (火) 18:00～19:30

### 米国の 仏教チャプレンシー -専門職種としての活動-

**内容** 欧米では一定規模の教育・福祉・医療の現場にはほとんどの場合、宗教者・チャプレンが活動をしている。ハワイでのチャプレンの実践をもとに、日本における仏教チャプレンシーの可能性について提示する。

**講師** 千石 真理(心身めざめ内観センター・臨床仏教研究所)

第3講 11/5 (火) 18:00～19:30

### 釈尊の救いと方便 -対機説法のカ-

**内容** 釈尊の在世時には伝統的なバラモン教を始め、多数の自由思想家たちが宗教的活動を行っていた。宗教や思想信条が異なる人びとに対して、釈尊はどのように教えを説き救いへと導いていったのか。その原点を探ることにより臨床仏教師の活動に活かしたい。

**講師** 佐々木 閑(花園大学)

第4講 11/19 (火) 18:00～19:30

### 台湾における臨床仏教 -死の質を問う-

**内容** 日本に先行して臨床仏教が定着した台湾。生の質(QOL)ばかりではなく死の質(QOD)をしっかり見つめることにより、患者が生老病死を乗り越えることに取り組んでいる。公共空間で専門職として活動をする臨床仏教師の活動に学ぶ。

**講師** 吉水 岳彦(淑徳大学・臨床仏教研究所)

第5講 12/3 (火) 18:00～19:30

### 支援を必要とする母と子 -大念仏寺社会事業団の取り組み-

**内容** 孤立するシングルマザーや在日外国人の母親たち。彼女たちの多くがDVなどを経験する中で、幼い子どもを抱えながら経済的かつ精神的な困難に直面している。長年にわたる母子支援の活動の中から、今日の社会において仏教者が何をできるのか考える。

**講師** 野崎 裕子(大念仏寺社会事業団)

第6講 12/17 (火) 18:00～19:30

### 地域社会における 看取りのあり方 -つながり社会を回復するために-

**内容** 高齢社会を迎え社会保障費が切り捨てられていく中で、介護や看取りは地域社会に戻されつつある。人と人とのつながりが失われ、機能不全に陥っている今日の地域社会の中で、寺院や仏教者が担う役割や可能性について提示する。

**講師** 大河内 大博(医療法人社団日翔会・臨床仏教研究所)

第7講 1/14 (火) 18:00～19:30

### インターフェイス・ チャプレンシー -東日本大震災の被災地での実践-

**内容** キリスト者ではない東日本大震災の被災者に対して、悲嘆に対するどのような「いのちのケア」が有効であったのか。8年間の実践経験をもとに、宗教を超えた「インターフェイスなケアのあり方」を仏教者に対して提案する。

**講師** 高木 慶子(上智大学グリーンケア研究所)

第8講 1/28 (火) 18:00～19:30

### 日本人の死生観と いのちのケア -のぞまれるケアのあり方とは-

**内容** 現代社会において自身の明確な死生観をもつ日本人はあまり多くない。曖昧な死生観を抱えながらこの世の旅だちを迎えねばならない環境の中で、仏教者はどのようなケアを提供することができるのか。欧米人の死生観と比較しながら考える。

**講師** カール・ベッカー(京都大学・花園大学)

第9講 2/4 (火) 18:00～19:30

### 子ども会活動の役割 -仏性を育み寄り添うこと-

**内容** 江戸期には全国に1万ほどもあったと言われる寺子屋。現代に求められる寺子屋の在り方とは、一体どのようなものだろうか。子どもたちに居場所を提供し、等目線で一人ひとりに寄り添う大切さについて学びながら、子ども支援の展望を考える。

**講師** 中村 勝胤(五位堂安養日曜学校)

第10講 2/18 (火) 18:00～19:30

### いのちのケアの実践 -現代社会における臨床仏教師の使命-

**内容** 臨床仏教とは、人が生まれながらに抱えることを宿命とされた生老病死の苦しみに寄り添う仏教のあり方であり、もとより仏教の本義でもある。さまざまな苦しみの現場における「いのちのケア」のあり方について考え、その実践の方途を提示する。

**講師** 神 仁(臨床仏教研究所・東京慈恵会医科大学)

私たちが生きる社会  
私たちが抱く想い  
生・老・病・死の「いま」を知る  
「いま」を考える

## 人びとの「いのち」に 寄り添うために